

Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより

北海道支部発

2023 化学グランプリ支部長賞・奨励賞授賞式

2023 年度化学グランプリ北海道支部長賞および日本化学会北海道支部奨励賞（高校生の部）授賞式・受賞講演を、2024 年 1 月 23 日に北海道大学学術交流会館小講堂において開催しました。前年 7 月に行われた北海道地区の化学グランプリ一次選考には、札幌、旭川、室蘭、北見、釧路、函館の 6 会場で合わせて 51 名が参加し、上位 1 名が二次選考に進みました。化学グランプリ支部長賞は、二次選考進出者を除いた優秀な成績をおさめた者に贈られます。本年度は、谷村誠矢君、田邊裕盛君（ともに北海道旭川東高等学校 3 年）、水野雄太君（北嶺高等学校 3 年）の 3 名が受賞しました。

支部奨励賞（高校生の部）は、北海道高等学校文化連盟理科学研究発表大会に参加する部活動のうち本賞に応募したもの中から選考されます。旭川東高等学校化学部（9 年連続受賞）「AI-C 電池の正極における O_2 と H_2O の還元反応」と、函館大学附属柏稜高等学校理科研究部「生息水深の違



いによる北海道南部産ダルス組成変化」の 2 校が受賞しました。授賞式および講演の進行は支部化学教育協議会議長の蠣崎悌司先生（北海道教育大学札幌校）が務め、朝倉清高支部長（北海道大学触媒科学研究所）から賞状および副賞あるいは奨励金が授与されました。その後、支部奨励賞受賞校による講演が行われました。いずれも、丁寧に作り込まれた内容を落ち着いた振る舞いで発表され、また的確に質問に対応するなど素晴らしい講演だったと感じました。両校に対して会場からは盛大な拍手が送られました。

（谷 博文 北海道大学大学院工学研究院 准教授）

中国四国支部発

おもしろワクワク化学の世界
'23 徳島化学展

2023年8月26日(土)・27日(日)に徳島県郷土文化会館(通称あわぎんホール)大会議室で本支部が主催する化学を中心としたサイエンスの体験イベント「おもしろワクワク化学の世界'23 徳島化学展」が(公財)徳山科学技術財団との共催で行われ、小学生低学年とその保護者を中心に974名の来場がありました(大会委員長:支部長・広島大学・楯真一教授, 実行委員長:徳島大学・森賀俊広教授)。本イベントは子供たちに化学(理科)の面白さを体験してもらうために1993年から中国四国地方各県を巡回して毎年開催されており、新型コロナウイルス感染症の猛威のために2020年度中止, 翌年オンライン開催を経て, 昨年度の愛媛化学展から最新の感染対策を講じて対面実施を再開しています。感染症法上の位置づけが5月に5類に移行しましたが昨年度の実施方法にならい, 各日とも3部入替(1部90分), 事前予約制として演習実験, 体験実験を実施しました。徳島県では10年ぶり(ミニ版は8年前)5回目の開催です。

展示ブースは「あぶりだし」, 「光でレリーフ画を描いてみよう」, 「プラスチック(ナイロン糸)を作ろう」, 「化学でホタル・ルミノール反応」, 「再使用可能なミニ温熱パッドを作ろう」, 「高吸水性ポリマーで芳香剤を作ろう」, 「見てみよう! さわってみよう! 極低温の世界」, 「ラメでキラキラ☆スーパーボールを作ろう!」, 「19世紀の天気予報



具, ストームグラスを作ろう」, 「えれめんトランプマスターになろう」, 「スライムを作ろう」, 「果物や野菜を使って電気を起こしてみよう」, 「交通安全缶バッジを作ろう」, 「カルメラ焼きを作ってみよう」がテーマの14件で, 徳島大学, 鳴門教育大学, 阿南工業高等専門学校, 徳島科学技術高等学校, (株)トクヤマから身近にある材料を使ったいろいろな演習・体験実験が展覧されました。多くのテーマが5~10分程度で完了, 子供たちが興味を持ちかつ安全に体験できるように工夫されていました。

すべての部の開始時刻前には会場入り口に参加者の行列ができてガイドブックを眺めており, 開門とともに希望するブースに向かっていました。参加者は制限時間内(各部90分)であれば順不同で何件でも体験可能であり, 多くは制限時間ギリギリまで満喫していました。中には10件近く体験した猛者もいたようでした。未就学児・園児も親子で多数来場しており, 目を輝かせながら驚いたり, 面白がったり, 保護者・引率者の方といっしょに楽しんでいただいていたようでした。

化学の楽しさ, 不思議さを感じるには実際に見て, 触って, 体験することが一番かと思います。子供の理科離れがなかなか解消しない中, いろいろな演習実験, 体験を通して, 来場いただいた子供たちが「化学は面白い, 理科が好きかも」と感じ, 好奇心を育てていただけたらと願っています。

(山本 孝 徳島大学大学院創成科学研究科 准教授, 徳島地区化学教育研究協議会 委員)